

昭和31年6月18日第3種郵便物認可
 毎月1回1日発行
 定価1部15円
 印刷所 田辺印刷株式会社
 上田市原町 TEL1492

千曲会報

編集兼発行人 小林尚一
 発行所 社団法人千曲会
 長野県上田市常入信州大学繊維学部内
 振替 長野 6243・東京 43341
 電話 上田 1215(代表) 1218(直通)

家蚕における産絹量と発育との相互関係

前郡是製糸株式会社蚕種課長 永井 覺

この研究は家蚕の実用的形質のうち、育種上、主要な対照となる産絹量の多少が蚕の発育に及ぼす影響と育蚕並びに採種技術との関連について生理学的に解析検討して基礎的な新しい事実を解明したものである。即ち著者は起源を同じくして産絹量の異なる系統を選出し、各系統蚕の性状及び飼育条件との関係を検討し特に問題点として指摘される飼育経過特性と強健性及び採種上の特質に就て解析を加え、それらの因果関係を明かにすると共に絹糸造成と体組織発達との Control, 特に変態との機能交渉を実証して、家蚕の発育機構上、産絹量の多少は支配的な要素となることを解明したものである。

第1章に於ては、全齢経過日数と繭重を近似ならしめて産絹量(繭層重)のみを異にする方向に育成を試みた過程並びにそれらの一般性状を比較検討した結果、多糸量系となるに従い稚蚕経過日数短く、壯蚕特に5齢経過日数長く、さらに強健性と採種性能の低減及び卵の孵化機能が劣る事実を見出し、この研究を指向するに至った系統別特性と問題点を指摘した。

第2章は各系統蚕の特質と飼育条件(温湿度並びに葉質)との関係を検討し、系統別経過特性と産絹量の多少は飼育条件の如何に拘らずその特質が維持されることを確め、また特に強健性と採種並びに孵化機能の劣る

多糸量系も飼育、営繭及び蛹期の管理条件によってそれらの欠陥を救済しうる要因を解明した。

第3章に於ては、発育経過特性を体組織重と絹糸腺重の成長量より検討し、各齢期毎の単位時間内の体重増加は、多糸量系となるに伴って稚蚕期大で壯蚕期は少いことを見出しこれら発育速度の差異が就眠性附与時期の早晚と食桑消化量の多少と合致することを認め従て蚕体構成の遅速が発育経過を支配する要因となることを証明した。而してこのような全齢的傾向は各齢間にも繰返され特に5齢期の体重並びに体組織重及び絹糸腺重別に夫々の Growth Curve を系統別に解析し産絹量の多少に基く発育過程と機序について新しい事実を究明した。

第4章では強健性との関係を検討した結果、多糸量系の5齢蚕体液の PH 値低く、酸中和能力劣りかつ比粘度高くまた絹糸腺内の灰分含率多きにかかわらず体組織内に少いことを認めた。また肛門閉鎖による排糞停滞と異常低温接触による体液緑化の現象に基き消化器官の特性についても検討し多糸量系となるに従て中胃被膜の PH 値及び色素透過性の増大す

ることを指摘した。而して体液性状と灰分の体内分布及び中胃被膜の性状は夫々各系統蚕の強健性に関与する生理的要因であることを解明した。

第5章は多糸量系において、卵細胞数とその造成過程が遅滞し、かつ雄にあっては授精能力劣り産絹量の多少によって採種に関連する生殖巣の発達と蛹体水分率の止揚されることを指摘した。特に多糸量系は蛹体内に残留する絹物質の多いことが認められ、卵形成遅滞の拡大と、蛹期間の延長及び産下卵の孵化機能低下は蛹体内に残留する絹物質解離の異常が要因となることを実験的にも解明した。

第6章に於ては産絹量と体組織発達との相互関係について特に検討した。即ち5齢期の食桑量を増減せしめる場合、絹糸造成の増減が体組織造成の増減を Parallel に支配する機序を認め産絹量の系統的特性の優位を確め、さらに絹糸腺除去と吐糸孔閉鎖によって少糸量系が化蛹能をもつに反し多糸量には全くみられない事実を指摘し絹糸造成物質は体組織造成に関与しないことに示唆を与えた。次に産絹量の増加は営繭未化蛹を誘発しかつ蛹期間の延長すること並びに第1気閉鎖は産絹量の減少を招くこと及び生殖巣と翅芽の摘出は産絹量の増加を招来し、絹糸腺の発達と変態ホルモンとは機能的に密接な関係にあることを追証した。

第7章は総括的に産絹量と発育特性及び絹糸造成と体組織造成の生理的な関連特に産絹量の増加は育種上体組織造成を犠牲として形成される機序について論議を加え、さらに絹糸腺の生理的役割についても考察し、併せて多糸量系に随伴する生理的欠陥の救済に関係する実際問題を指向し、第8章を以て摘要とした。

以上家蚕における産絹量と発育との関係については、なお今後の究明に俟つべき事項の多いことは勿論であるが、一応蚕品種改良における産絹量育種の方角を示唆し得たと共に特に家蚕の発育生理上、産絹量は基礎的な要素となることを解明し、育蚕及び採種技術への応用にも多くの課題を提供することができた。(現勤務場所蚕種消毒普及会取締役)

(計)本研究は信州大学蒲生、田口、山口先生、及び九州大学田中、林、筑紫先生及びに郡是製糸株式会社石田社長、諸星博士より夫々格別の御指導と御高庇を頂いたものであって茲に厚く御礼を申し上げる次第である。



学園鳥瞰

ヘリコプター撮影 金井 正一
 右端鉄筋三階は機械学科研究室

レオロジー特集号への序言

第10回レオロジー討論会世話人代表 吳 祐 吉

は し が き

昨秋第10回レオロジー討論会を当学部で開催の際は上田繊維科学振興会よりご援助を戴きお蔭さまで盛大に討論会を終えることが出来ました。今回その節の各講演研究発表が日本材料試験協会のレオロジー特集号として纏められ国の内外に配布される運びになりました。特集号の巻頭言として討論会の経過意義等を書きましたのでお礼少々報告する次第である。(37.6.8. 吳 祐吉)

1951年11月、東京大学において膠質化学討論会が“レオロジー”を特別主題目として採り上げ、わが国において初めてレオロジー討論会が開催されて次来はや10年、この記念すべき第10回のレオロジー討論会は1961年10月16～18日、日本化学会、日本物理学会、高分子学会、日本材料試験協会、および日本機械学会の共同主催の下に、長野県上田市信州大学繊維学部において行なわれた。討論会のプログラム編成その他の準備は高分子学会レオロジー委員会が担当し、会場の準備と開期中の御世話は信州大学繊維学部のレオロジー関係者がその任にあたった。

今回の討論会の編成に関しては次の三点が考慮された。第一に討論の範囲は、1) 分散系のレオロジー、2) 高分子のレオロジーおよび、3) 一般工業的レオロジーとして第9回の時と同様に、広く各方面のレオロジー研究者の寄与と接触とを慮ったが、第二に討論には充分の時間をかけてシムポジウムとしての実をあげ、一般学会におけるがように、逐一羅列的な研究発表に終らぬ様に努力した。そのために上記三つの討論範囲の中に、更に主題を設けて討論の焦点をしぼることにした。すなわち1)の主題としては、分散系のレオロジーと諸物性、2)の主題としては繊維構造とレオロジー、3)の主題としては、接着のレオロジーをそれぞれ選んだ。第三に開催地の特色をいかにするために高分子のレオロジーに関しては特に繊維の構造との関連に主眼を置き、なお Informal meeting において外部摩擦系を含む繊維集合体のレオロジーに関して、話題の提供を願い討論を行なった。

特別講演は玉虫文一教授と堀尾正雄教授に依頼、特に第10回を記念して、玉虫教授には“わが国におけるレオロジー研究10年の歩み”と題して講演を願い、過去10年間のわが国レオロジーの発展の跡を省みた。

開期中3日間にわたって、午前は各討論主題に関する総合講演にあてて全般的な討論を行ない、午後は特別講演と各主題に関する研究発表と個々の問題に関する討論を行なった。

特に今回は京都大学に交換教授として、米朝中のNational Bureau of StandardsのMarvin博士が討論会に参加されFree Volumeの観点に立脚する高分子粘弾性に対する温度と圧力との影響に関する理論と独特の研究手法とを発表されたことは参加者一同にとって大きな幸いであった。

分散系レオロジーの総合講演はFiller ReinforcementとMagnetic Rubberの物性に関して行なわれた。接着のレオロジーに関しては講演者の御病氣のために予定が変更されたが、古川淳二教授からデトロイトの国際接着シムポジウムの報告を中心として、世界の情勢を知る機会が与えられた。

第9回までの討論会は東京と京都とで交互に開催され、第8回だけが九州大学で行なわれたが、今回は初めて山間の地方大学で開催された。これを機会に第3日の午後は浅間高原へのレクリエーションにあてた。秋晴れの好天気にも恵まれ参加者の方々に信濃路の秋を味わっていただくことができたことは幸いであった。

討論会が地方の小都市で開催されたにもかかわらず、参加者は延300人に及び、しかも繊維、ゴム、塗料、印刷、接着フィルム、食品、鉛筆、機械、電気、合成化学、石油等非常に広範囲の業界の技術者が参加された。これはわが国のレオロジー研究が基礎科学の分野においても国際的に貢献しつつあると同時に、工業技術の分野においても、ますます広い範囲に浸潤して、その重要性が認識されるに至ったことを物語るものと思われる。

わが国レオロジー研究10年の歩みは、願れば誠に急速な発展をとげてはきたが、基礎的研究においてもようやく現象論的立場から分子論的立場へ歩を進め始めたばかりであるし、工業技術と基礎研究との提携、接触も充分なものとはいえない。また国際的交流もますますその実を深めていかなければならない現状にある。かかる意味合において、年に1回のこのレオロジー討論会の意義と任務は、ますます重要性を加えていくものと思われる。

今年もこの意義ある討論会の諸講演が日本材料試験協会の機関誌にレオロジー特集号として収録され、国内のレオロジー研究者にはもとより、国外のレオロジストへも広く頒布されることになったのは、大きな喜びであり、感謝の至りである。

ここに本特集号の刊行に際し、日本材料試験協会会長ならびに編集の労をとられた、同協会編集委員会の方々に對し深甚の謝意を表する次第である。(1962.4)

テレビとステレオ

岩城屋ラジオ店

上田市横町 TEL 981

日本工業規格表示許可工場

日本石綿紡織株式会社

本社 長野市三輪本郷
TEL (2)6275(3)0093

日本学術会議会員 (第6部)選挙有権者

専 門 別	有権者数	前回に対する増加数
農 学	2,964	322
農 芸 化 学	2,729	323
林 学	2,622	206
水 産 学	977	79
農 業 経 済 学	583	50
農 業 工 学	1,640	156
畜 産 学	1,363	184
蚕 糸 学	1,795	289
計	14,673	1,706

今年日本学術会議第6期会員の選挙が実施される年です。有権者の概数は上記のとおりです。各専門よりの候補者数は未だ未定です。但し蚕糸学は別に記載したとおりです。

学術会議会員候補者推薦

今秋行われます第6期日本学術会議会員の選挙に当り日本蚕糸学会から下記の人々が候補者(蚕糸)として推薦されました(五十音順)

全国区	小泉清明	地方区	有賀 久雄 (関東)
	中川房吉	〃	田島弥太郎 (中部)
	堀田禎吉		
	横山忠雄		

退職のご挨拶

三 浦 浦 太 郎

私は去る3月末日限りで信州大学繊維学部を停年退職いたしました。私の永年の教員生活を大過なく過すことが出来たことは、偏に各位のご厚情の賜と存じ、この誌上をおかりして厚くお礼申し上げます。

私の教員生活40年の最後の12年間のご奉公を上田でさせていただいた経緯は前号の本誌で野口先生が申された通り(ただし私に対するお褒めのお言葉はちがいますが)奇しき因縁と申しますか、私にとっては誠に有難いことでした。ここで野口小林両先生を初め多くの親しい同僚と学生に恵まれ、愉快に勉強させてもらいました。

また就職(学科主任)と補導(厚生補導委員)の仕事も2年隔きに当番のようにやらせてもらいましたが、これは関係の教官方は勿論ですが、事務職員と千曲会員の皆さんにどれほどお世話になったことかわかりません。お蔭でこれもどうやらやって来られたことは感謝の至りです。

私は秋田の生れですが、上田の地理、気候、人情の良さとここに住んで学部の内外に思いもよぬ多くの知遇を得たこと、更に卒業生とも時々会える望みなどを考え、ここを永住

することに決心し、元の官舎の近くに小宅を建て、晴耕雨筆の生活に入った訳であります。若い時のように筆がなかなか捗らず困っています。ここまで来てはあせらずに終生の仕事として取組んでいきたいと思います。

私は去4月1日から広島県可部町に新設された可部女子短期大学教授(被服材料学担当)となりましたが、住所は上田で、春秋2季に1週間位ずつ出講するだけの条件です。然し被服材料のサンプルが必須ですから、会員の皆さんにご協力をお願いしております。どうぞ上田の出店が広島に出来たと思召してご協力願えたら幸いです。私も出講旅行の途に会員の方々にお目にかかることも出来ようと楽しみにしています。

上田に来られたときはどうぞ拙宅にお立寄り下さい。皆さんが職場で元気で頑張って下さること、家庭のよきパパになられるよう熱望してやみません。

ご挨拶の機会を与えられたのをよいことに勝手な申分や、お願いやで貴重な誌面をふさぎましたことをお詫し下さい。(37.7.23)



信州みやけに

信州

武田味噌

電話(上田)2280
2281



オルガン
ミシン針

長野県小県郡塩田町

株式会社 増島製針所

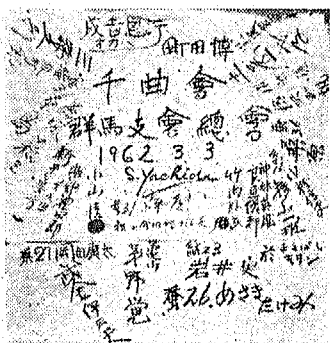
TEL 塩田 650

支 会 だ よ り

群 馬 支 会 総 会 記

群馬支会では去る3月3日に前橋で支会総会を開き、招請によって小生が参上した。今頃になってこの記事を出すのは笑止の沙汰であるが、実は同支会は支会中でも大きな方で会員多士さいさいであるから誰か支会便りを寄稿するものと期待していた(幹部に懇願してきた)が一向に寄稿がないので、同支会が総会を開いて大いに氣勢を上げたことを被曝する必要があると考えて書いたわけである。

支会便りはその支会の幹事が誰かが書いた方がその支会の様子や会員の意向を最も如実に伝え、全会員に切実感を与えるものであって、会報編集部でもそのような支会便りを歓迎しているのでそうあってほしいものである。



当日前橋市のドまん中のキリン食堂別館が開された。170~80名の大支会であるが参集者は31名であった。支会総会としては盛会と云うところである。同支会に出席したのは始めてであるが、前会長の小山清氏、青藤菊雄氏を始めとして旧知の方が多く来られた。県の産業構造に関連するのであろうが、同支会には紡、化卒の氏が少なく、群蚕社長杉山一雄氏を始めとして蚕、糸卒の業界人が多く、当日は自営、教員をまぢえて蚕糸業界の殊に若い諸氏が多く参集された。

会長、幹事長の司会で昭和36年度事業並に会計報告、全37年度支会運営方針が進められ、次いで母校校舎復興資金募集について全実行委員の小山清氏が詳しく説明され、小生がこれに火災当時の模様校舎全面改築計画案等を補足して募金計画の達成について協力を願ひ、また近く刷上る針塚先生追想録について、殊に当地出身の先生であるだけに一層の関心を寄せられ頒布申込されるよう願ったり会費納入成績の向上、殊に一時金納入者の取扱いについて説明した。

この支会は先年まで大先輩がその運営に当たっていたが、現在はずっと若返って昭和10年前後卒の先輩は顧問(織田博氏)

相談役(17名)にすえ、若い層で支会長副支会長3名、理事5名、幹事長、幹事16名を組織し、県内を東毛、中央、西毛北毛の4地区に分けて分担して運営している。かつて浜井寿雄、小山清氏等の格段の尽力で好成績をあげていた支会だけに、その行動家揃いの役員層の活動は一層の面目をほどこすことであらう。支会長幹事長は次の諸氏である。(町田記)

- 支 会 長 目崎 武美(蚕26)
- 副支会長 岡田 広太(糸27)
- ” 岩井 実(紡23)
- ” 小柳 源一(蚕24)
- 幹 事 長 桑島新一郎(蚕31)

紡3、年次総会記

と き 7月1日午後より2日正午まで

場 所 伊豆伊東温泉大喜荘
出席者 会員香山君夫妻、宮本君夫妻
 碓水君浜夫妻(7名)
客 員 清水衛敏氏夫妻
 青木友弥氏夫妻

紡3の第5回年次総会は、降り続く今日この頃上記の次第で、開催されたが、全員午後3時には処定の会場に参集したこの会の申し合せで、妻君の有るものは必ず帯同することになって居るが、碓水君のみは、夫人がご病気の為同伴できなかったことは残念であった、病氣とあれば仕方ない、一日も早きご全快をお祈りする。

小松君は、現在農協の要職にあり、米価値上げ運動展開中であるので、責任者の1人として、クラス会にのうのうと出席して居るひまはない、との理由で欠席された、彼は学生時代から私などと異り眞真面目な人間であるので、彼に関する限りこの理由で、欠席とあれば全員あきらめる。来年、もしもこの様な事態に落ち合ったら、君はその方の役を勤め、妻君だけでもよいから出席させてもらいたい、お願いする、若し、然らば会員が責任をもって、善良な管理者を相勤めることをお約束する。クラスの諸君!!小松君の欠席理由が真実であったことは、2日の正午過ぎ東京新橋の通りで、全国農民代表の米価値上げデモの先頭に白タスキを掛けて行進中の彼を発見し、私が握手した事実の有ることによって証明する、農民代表でご苦勞様です、全国農民のたのめによりしく、フレ〜フレ、去年諏訪で、開催した総会には、香山君が新しい妻君を連れて出席すること云うので、彼に会うより妻君を見ることに多くの期待を持って皆集ったが、こと志と違い、君の急病(盲腹炎)のために俄に欠席されたが、本年はご元気で、若々しい妻君と共に出席されて、この会を一層明るく

した。気のせいかな、君まで若くなった様な気がした。ここで、一寸、千曲会の諸兄に紹介して置かねばならない大発見がある、香山君は、失礼なと云うかもしれないけれども、実は香山君は中国からの引揚者で、しかも引揚者の身元を証明して呉れる厚生省公認の引揚者証明員と云う大人であるので、吾々同様ピンボー人であると、今の今まで思い切って居たのであるが、左にあらず、熱海と湯河原の中程に拡大な土地を所有して居る大地主であると云う一事である、別荘の用地でもサガして居る御人は、我がクラス員に申し込まれたい、有利に割愛を願うように香山君に運動する、勿論仲介料は無料で誠意を以ってやるからご安心の上、そくぞく申込れたい。但し、ミズテンで購入する人に限る。

今度の総会には、同期の清水君と青木君のご両人が夫人同伴でご出席下され、この会をいよいよ盛大にして下さったことを感謝する。ご両氏は、勿論他の千曲会員諸君も気が向けば、次回にはご参加下さい、会員一同大歓迎する。しかし、念の為に申上げておくが客員でも会員同様に会費はイタダクことを、別に割引はない、又割増もしない。

前置きが長くなってしまったが、会食前の時間を利用して、伊東大室高原のシャボテン公園までドライブして、伊豆の風光を楽しみ、60余万坪拡大な土地と3000種に及ぶシャボテンと500種もの小動物を放し飼して居ると云うシャボテン公園を見学した、この公園の詳細については、ここで私がP.Rする必要もないと考えるので省略する、関心のある人は行ってご覧下さい、いよいよ7時頃から会食を始め、例によって一別以来の身上話、学友の消息、懐旧談、学校、千曲会の有り方などについて大いに不慮に愉快に語り合い、夜の更けるのも忘れて12時頃寝たのであるが、この会で特記すべきことは、石倉先生が今年喜寿を迎えられたので、祝意を表すため、何か事業少しオーバーな云い方であるが、をやることを推進することを申し合わせた、具体化の節は大方の諸兄のご賛同をここでお願いしておく。

総会の記事は当番幹事が書くことになっている由でやむなくダ筆で書きつづりその責任を逃れることにする。(浜香三)

喫 茶 と 食 事

近 藤

生ビール パーベキュー
TEL(上田) 298・1780

栃木支会だより

支会長 高橋 汎 一

向暑の砌り本会各位益々清栄に涉らせられ、母校も着々復興に向いつつあることを衷心より喜んでおります。予て度々配慮を戴いており、5月13日栃木支会総会の節は時節柄ご繁務中のところ萩原理事長のご出席を相煩わし、本当に恐縮いたしております。予て早く母校火災復興資金につきましては申込書並びに送金致したさなければなりませんところ、選挙等が中に入りましたので一日伸びに相成り、小生県内を廻るのが遅れてしまい申し訳なく存じております。

今回支会員を全部廻りましたので一応ご協力を戴きました方だけの分をご報告申し上げ別紙振替便にてお送りいたしますから何分よろしく願い申し上げます

次に申込者の内、予て4年近く病床にあり、栃木県庁蚕糸課を退職なされ郷里下都賀郡美田村立木で療養中に脳溢血で倒れて以来病床にあり乍ら母校火災のことをお話ししましたら涙を流して愛校心にみなぎりせめて病床にあり、小額であるがと申され金1,000円を協力して下さいましたことは本当に母校愛の表れと感激いたして芳谷氏の熱情にかられ母校資金をお預りして帰りました。蚕24回卒の芳谷富雄氏であります。4年間も寝たきりですから何かにつけご不自由お気の毒のことは申し上げられようもございませぬ。すべて両親より支出して貰うという状態でありますから、芳谷氏の千円は我達の1万円以上に相当するものと存じます。どうぞこのことを萩原理事長、小泉学部長にお話をお通しおき下さるよう呉々もお願いいたします。

尚足利地区は宮尾氏より取りまとめでご送金することにお話をして参りましたので近く送金のことと存じますのでよろしく願い申します。向暑の砌り学部長理事長、諸先生折角ご自愛下されますようお祈り申し上げ母校復興募金の近況報告いたします。(37.7.24.)

不自由の身体で母校を思う芳谷さん

芳谷さんが脳溢血で倒れてからもう4年になる。家人らの必死の看護にも神は味方せず不自由の身体で今日におよんでいる。君は人の世話をよくし、母校を思う、高橋現支会長と共に栃木支会の重鎮として奮闘してくれたのである。その母校思いは病床にある今も少しも変わらず火災復興の計画を知るや真先に寄付を申し出たのである。支会長達の強い辞退にもかかわらずこの身体では何もできないからせめて寄付でもと言われた由である。ああ何と言う尊いお心であろうか。当時者として言う言葉もない感激である。吾々は何としても目標を達成し、芳谷氏のこの愛校心に応えなければならぬと決意を新たにした次第である。芳谷さんほんとうに有難う。母校および5000の会員に代って厚くお礼を申し上げます。今だ春秋に富むのに不自由の身となりさぞ無念でありませう。今後はいよいよ療養につとめ、再び健康をとりもどし、千曲会のために御活躍されますよう切に願います。ここに君の愛校心を報告すると共に一日も早く再起されることを心から祈ってやみません。(荻原)

現代版・「あれからの旅路」

袋井市(蚕2) 戸倉・八

○森の石松会のゆわれ

遠江は大井川と天竜川の間にあつて遠州とも云う、遠州の中部「中遠」の約三里当袋井の北奥に親分森の石松で人のよく知る森町がある。ここに戦後退官十年位鎮座ましますのが佐藤良太郎和尚で仏事研究に没頭している。吾々七人の侍ならで七人の老童、上田、1, 2, 3回卒の面々で「石松会」を作つて時々会合を催し、佐藤会長を司にして無礼講で一杯やりながら昔話に花を咲かすのである。この七人たるや箆にも棒にもかからぬ代りに二条や三条の縄ではゆかぬ古狐のみで湯川、絹村にしろ大箆にしても果た又近藤司法書司にしても一騎当千の士、聖人に近いのは堀本位

万丈の気を吐く石松会員



於 37年6月浜名湖新井町弁天

後列左より 湯川 佐藤 堀本 大箆
前列左より 近藤 絹村 戸倉
のもので戸倉・八は偽聖人と云う所であらうか。今年も六月中旬浜名湖南岸突出岬「新井町弁天」で例会を催したが、気焔万丈遠州灘の土用波そこのけつ蜚声を吐いて充満する老兵未だ消えずとばかりウップンを嗜すのであった。

○「あれからの旅路」刊行企画

この7人組が昨秋頃迷案して1, 2, 3回卒の学窓連中に告知して小冊子を綴らうかと、おそらく彼等一生の内一度丈と思われる妙案を企画し今生の悪歴史を纏めんとしたのだから晩年、陽は西山に没せんとするのを意識したのであろう。世は末なりか。早速上田本部へ伺いをたてて御裁可を得て蒲生、林、倉沢の元老を発起人に奉戴順次原稿集めに取りかかったのである。目下近藤宅で集計しつつあるが予想を超過して長短いろいろあるにせよ七十余名圧縮しても三百ページ位に纏まる位の原稿が届けられた事は、千曲会報広告欄に掲載した通りで初秋頃には「あれからの旅路」は皆さんの御目に掛けるのである

○後続企画を是非期待する

今回の吾々の実行したこの刊行は人生旅路の思い出善悪の各人の履歴書でよい企てと思うので次は4, 5, 6回卒の方々に於てもやってみられては如何切に望むものである。そして次の次は7, 8, 9回卒と遂次後続して貰いたい念願である。

特許・実用新案・意匠・商標
出願・訴訟・鑑定

浜 特 許 事 務 所

東京都芝新橋1の20
堤 第一ビル四階
東京(591)一0764・0765

弁理士 浜 香 三
弁護士 中 猪 之 助

1回, 2回, 3回卒寄稿者70名

あ れ か ら の 旅 路

300頁 初秋出版予定部数に多少の余裕あり。1, 2, 3回卒以外の各位の申し込みに応ず。
頒 価 1,500円
発起人兼編集委員
蒲生 俊興, 倉沢 美徳, 林 貞三
(森の石松会員)
佐藤良太郎, 絹村 貢, 湯川 秀夫, 堀本 省一
大箆 政平, 近藤 正巳, 戸倉 八峰
編集所(予約申込所)静岡県滝松市鴨江近藤正巳方

本 会 記 事

学 内 理 事 会 開 催

7月10日学内理事会開催、協議決定事項は次のとおりである。

①7月10日現在の母校火災復興資金募金の支会別現況報告と目標達成の方法については、各支会に前記申込および納入状況調べを報告すること、募金の低調な支会については役員が極力出張して賛同協力を依頼してその達成を計ること。支会総会を開いて会員に協力をはかった支会は順次目標額達成に向っている。

②本秋行われる予定の学友会主催の学部祭について本会に寄付申し入れがあったので種々検討の結果、催については至極結構であるが、本会の現況から申し入れに応ずことは困難であると結論された。

③3学年生が7月11日より3週間の予定で学外実習に各地に派遣されるので任地の支会長に挨拶するよう支会長名および支会連絡事務所の一覧表を配布すること。

④支会内に職域別の集い、同期会等催すことは本会の横の連絡を密にして本会の向上発展に裨益することであるからしようようすること。

⑤千曲会厚生施設建設予定地楓ヶ丘地域の現況視察をして寮建設の促進を計ること。

小根沢道生氏西独で染色研究中

浜口染工株式会社勤務の小根沢道生氏は昨年11月以来西独 Höchst A.G. 社で染色の研究中である。尚帰国は本年12月の予定である旨浜口染工の松木文善氏より通知があった。

千曲会厚生施設寮建設予定地視察

50周年記念事業の一環である千曲会施設拡充費の活用については第22回定期総会において基本財産より90万を処分して千曲会厚生施設寮建設に充当することと

なっておったので、本春米数次にわたって各地に適地を探しておったが、北佐久郡御代田町観光開発事業部より楓ヶ丘別荘地第2次分譲地675坪の売買契約を完了したので、いよいよ厚生施設寮を建設する必要があるので町当局と打合せのため7月11日荻原理事長等役員が現地視察を行った。前記建設予定地楓ヶ丘は100戸分の分譲が終り経済界学界の有名人が既に20-30戸は建設が終り避暑も出来るほど進行しており北に雄大な浅間を眺め西にアルプス連峰を遠望するところ、国道18号線にも車で15分位で通ずる閑静好避暑地である。なお本会の厚生施設寮建設予定地は海外貿易出版会社寮地と接している。

会 員 動 静 部 委 員 会 開 催

7月5日動静部委員会を開催し次の事項を協議決定した。

①ハンド、ソート式のパンチカードを採用するの可否、現在年次別学年別および支会別台帳、会報発送カード台帳等により動静を整理してあるが非常に煩瑣であるから、多面的に動静の資料が得られる最新式のハンド、ソート式のパンチカード採用することは革新的で宜しいので調査して次年度予算に経上するよう研究すること。

②会員名簿の作成については従来実費頒布してあるが広告をとって運営に支障をきたさないよう一部200-300円にて頒布を目標とする。発行の時期は全く未定である。

③会員の動静の把握について学内は学科毎に用紙を廻して動静記入報告願っておるが停滞することがあるから回覧板を購入して早く知るよう措置すること。

④一般には支会にお願いして動静報告をえているかまたは直接に会員より本部に通知を得ている。会員は動静を支会に必ず報告して動静の正確を期すること。

母 校 ニ ュ ー ス

学 内 人 事

○紡織工学科繊維物理学研究室の篠原昭氏は6月1日文部教官に昇任された。

○繊維工業化学科天然繊維研究室の小笠原真次氏は7月1日文部教官に昇任された。

○繊維農学科付属農場勤務の宮下明治氏(学蚕5)は6月15日付退職し岩手県盛岡園芸試験場技官に栄転された。

繊維機械学科建物工事初まる

繊維機械学科研究室の内本年分の建設入札は7月9日行われ北信土建株式会社請負が決定し工事が初められている。

高分子研究所の建設について

高分子研究所の建設については高分子委員会で作案をつくり9月頃の着工予定で設計は本部に頼むことになる予定であるその坪数は延べ200坪でこの経費2,000万円は同盟会が負担する。なお研究所は2-3年実績をつんでから国に移管する考えである。

土屋敦博助教授第4回アジア競技大会に出席

体育研究室の土屋敦博助教授はバンドンで8月24日から9月4日まで開催の第4回アジア競技大会にインドネシアからの招聘により出張することになった。なお紡織工学科在籍のインドネシア親善留学生セレベス、マカツサル市出身Abdul Hamid Empo君も土屋助教授と同行、7月30日羽田空港発インドネシアに出発した。

37年度理科実験講習会開催

本年度理事実験講習会は7月28日より8月4日まで母校において開催される、講師は田口教授、小山助教授、古平講師清水助手により高等学校部会の生物について造詣深い講習が行われた。

千曲会員の宿
上田市外別所温泉
大展望風呂
上松屋

TEL 塩田 9
倉 沢 修 一 (蚕30卒)

ビニロン レイヨン



倉敷レイヨン株式会社

取締役社長 大泉 総一郎

本 社 大阪市北区梅田八番地(新阪急ビル)
東京事務所 東京都中央区日本橋通三ノ一(新日本橋ビル)

母 校 火 災 復 興 資 金 抛 出 申 込 者 氏 名 (○印宛納)

北海道支会
2,000円 ○池田正五郎(蚕11) ○勝野貞哉(蚕35) 小林
榮(学紡7)

北 奥 支 会
3,000円 ○高木修(蚕20)
2,000円 ○高木弘子(学蚕6)
1,000円 ○高木武人(学蚕4)

山 形 支 会
4,000円 栗原章(蚕5)
3,000円 後藤仙弥(蚕9) 前田雅弘(蚕13) 斎藤幸藏
(蚕15) 佐藤克治(蚕19)
2,000円 丸川貞雄(蚕23) 井上兵一郎(蚕12)
1,000円 滝沢寛三(学蚕3) 石川光也(糸別4)

群 馬 支 会
2,000円 ○小林良亘(紡2) 湯原理三(蚕36) 田中信二
(学系4)
1,000円 大森文作(蚕33) 谷内田昭一(糸34)

千 葉 支 会
3,000円 ○橋本亘司

茨 城 支 会
3,000円 ○船後勇平(蚕6) ○前沢康雄(蚕14) ○広瀬
清四郎(蚕2) 丸山十吉(蚕12) 竹内博雄(蚕
19) 竹内正司(糸20) 村上義美(蚕24) 佐藤文
富(蚕32)
2,000円 影山剛(蚕33) 大工原卓(蚕36) 生天目久平
(蚕25) 谷沢術(蚕26)
1,500円 ○上野平八郎(学蚕1)
1,000円 ○斎藤鳳一(蚕8) ○清宮保(糸1) ○鈴木誠
一(糸1) 内藤次郎(糸14) 渡辺嘉博(蚕22)
神岡康夫(蚕35) 宮崎貞吉(糸38) 堀内良孝
(蚕38) ○田中康雄(蚕4) ○手塚輝男(学蚕2)

栃 木 支 会
5,000円 高橋汎一(蚕8) 門田秀太郎(蚕10) 猪瀬親二
(蚕11) 水野義男(蚕22) 白石金造(蚕31)
3,000円 ○若林宏一(蚕33) ○佐藤秀夫(蚕30) 江田重
男(化4)
2,000円 岩下嘉光(蚕37)
1,000円 ○桜井友吉(蚕別1) ○山崎袈裟吉(学系2)
○芳谷富雄(蚕24) ○若林きよ(教1)

東 京 支 会
6,000円 ○柳沢新一(蚕31)
5,000円 竹内孝三(蚕14)
3,000円 ○有賀文雄(糸1) 島崎昭典(糸36) ○佐藤雅
久(化3) 武本本治(蚕13) 松野輝彦(糸21)
西沢政人(蚕23)
2,000円 尾藤省三(蚕10) 大木定雄(糸19) 直井利雄
(学系6) ○金光昭明(学系5)
1,500円 中村甲子男(糸32)
1,000円 ○柳沢俊男(学蚕6) ○笹山進(学化9) ○堤
勝(学紡10) 水出通男(糸37) 寺島利一(学系
3) 小口ちか子(糸別2) 木山達雄(糸33後)
篠原定雄(蚕34) 堀内彬明(蚕33後) 戸谷和夫
(蚕34) 橋詰強(学蚕7) 小松計一(化6)
吉池昭夫(学蚕9) 横沢三夫(学紡7) ○宮崎
尚敏(学化8) ○山本岩三郎(蚕7) ○山本
幸四郎(紡26) ○宮原家候(化5) ○藤沢和雄
(紡28) ○関口俊雄(紡28) ○小林正平(化3)
○須田公三(化6) 寺島貞三(化8) ○中沢秀
(紡29) ○宮本庸治(化6) 芝村靖夫(紡25)
○飯田善行(学化3) ○水野繁(化5) ○幾原
敏行(学紡8) ○徳武正人(学紡8) ○野中典
夫(糸35) ○小林勝利(学化8) ○谷沢調二(紡
27) ○山本繁文(化6) ○宮本金三(学化3)
○中村尚三(紡27) ○成田光夫(紡30) 宮川千

三郎(蚕20) 長谷川聖人(蚕36) 大井秀夫(蚕
36) 山浦和水(蚕35) 佐野政美(糸34)

神 奈 川 支 会
10,000円 ○会田誠司(蚕25)
7,000円 ○井上彰久(紡1)
3,000円 ○塚田和磨(糸25) 飯島雅夫(紡22) ○清水邦
達(学化2) ○柳沢梯三(学化5) ○金井金雄
(学紡5) ○小山武(学紡4)
2,000円 ○大鶴照(紡26) ○滋野文雄(糸19) 伊藤鏡
(糸1) 飯島直(糸3) 高橋英(糸21) 高林弘
(糸29) 松崎滋(糸29) 石塚敏夫(糸35) 神立
均(学紡3) ○馬場武(糸18) ○乾康利(学化
6) ○橋詰寿美雄(学化8)
1,000円 ○根律健(糸18) 菅原克男(学系8) 久保義明
(紡9) 佐久間政志(糸18)

越 佐 支 会
3,000円 ○上村賢造(蚕21) ○飯塚孝一(紡24)
2,000円 佐藤佳良(紡16)
1,000円 ○村田謙治(蚕39) 倉沢文夫(蚕19)

石 川 支 会
5,000円 ○坂本政雄(紡7)
3,000円 ○黒田誠一郎(糸8)

富 山 支 会
2,000円 長谷川敏文(蚕25) 竹花亮一(学化2)
1,000円 上野每夫(学紡3) 山口雅男(学紡10)

北 信 支 会
5,000円 井沢喜三(蚕16)
3,000円 河田栄一(蚕18)
2,000円 西村国男(蚕25)
1,000円 ○中村武男(蚕18) ○関川利治(学蚕9) 宇治
川喜平(蚕33後) 宮尾三世幸(蚕35) 松沢宗一
(農4) 近藤義和(学化1) 中島章夫(学蚕3)
大久保紀元(学蚕3) 小森三郎(学蚕9) 清水
孝夫(学蚕10) 松原喜光(学蚕10)

安 筑 支 会
5,000円 曾山高祥(蚕4)
4,000円 ○百瀬文雄(紡14)
3,000円 ○柳沢六平(紡16) ○鷹取稔(紡18) ○矢崎勝
(紡12) ○和田利章(糸24)
2,000円 安藤良人(農1) ○滝口昭夫(紡30) ○手塚俊
男(化5) ○宮沢徳男(紡18)
1,000円 ○中村栄司(紡専) ○土屋秀夫(学紡7) ○勝
野邦夫(学紡8) ○福島正一(糸36) ○福島融
(学蚕2) ○丸山依純(蚕別1) ○斎藤幸治
(蚕別6) ○和田正(糸32) 久保村安衛(蚕別
2)

岐 阜 支 会
5,000円 ○二木典夫(紡16)
2,000円 ○岸善亮(蚕9)
1,000円 ○関文夫(学系2) 石坂尊雄(学蚕7) ○手塚
茂(学蚕7) ○岩田久太夫(糸23) ○山浦正男
(学蚕7)

三 重 支 会
2,000円 青木実造(紡21) 大塚直人(紡26) 山際明(学
紡2) 西沢喜徳(紡27) 宮沢安雄(紡26) 小林
英夫(学紡3) 篠原大(学紡5) 両角良介(学
紡1) ○古屋和夫(紡28)
1,000円 ○北原匡(学化8)

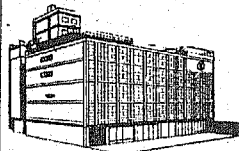
近 畿 支 会
10,000円 若林新一郎(糸10)
3,000円 村山日出男(学紡5)
2,000円 ○浜佐佐加三(蚕31) ○北沢亨(化7)
1,000円 ○水野伸夫(学化8) ○小関悦郎(糸19)
○井野正夫(糸18) ○小松昭威(学系5)

小計 202人 404,500円
累計 538人 1,490,500円

会 員 動 静

馬場 順一 蚕 24 上田高等学校(上田市松尾町)
(住)前通り
山浦 俊美 蚕33前 小諸高等学校(小諸市)
宮崎 正 学化7 日本バイロン(株)(滋賀県野州
郡守山町勝部)
小山 金路 化 9 神奈川県藤沢市八州台2505の2
伊藤 稯 学化8 東京都練馬区北大泉町1044
天野 昭二 学化4 名古屋市中村区大崗通5の22村橋方
潤賀 康成 学化7 東京都北多摩郡清瀬町958の20
中川 哲雄 学化8 日本化学繊維検査協会
千葉県東葛飾郡鎌ヶ谷町鎌ヶ谷520
竹前 皓司 学化9 東京都世田ヶ谷区船橋町54
三菱商事 千歳南寮
並木 宏 化 9 尼崎市東園田町3の71の3

浜田 和光 学紡10 山陽 倉敷レイヨン(株)岡山工場ビ
ニロン紡績部工務課(岡山市海
岸通り1丁目3)
小林 啓 化 5 東京 東洋高圧(株)本社開発部(中
央区日本橋本石町4の2)
小松市太郎 学紡10 近畿 大阪金属工業(株)総合技術研
究所第六課(住)大阪府三島郡
三島町一津屋大金江風寮
蒲生 卓磨 学蚕5 東京 農林省蚕糸試験場育種部
(東京都南多摩郡日野町1,852)
植松 武光 学糸8 東京 栗田工業株式会社社長室広報課
(東京都港区芝金杉川口町3)
(住)横浜市中区海岸通り公園
住宅2の5の5
中村 長章 紡 26 東京 青柳市商工会議所(住)東京都
八王子市大和田町4丁目



皆様の百貨店

上田・中央

ほていや

香 青 軒

上田市袋町 TEL 13

8月1日より

本町 やよい寿司部 開設

TEL 290

信州別所温泉

(上田駅下車電車又はバス30分)

日観連会員
交通公社指定
国鉄推薦

和 泉 屋

TEL (塩田局) 30・102

為替のご用は

はやくて たしかな
富士をご利用ください

千曲会へのご送金は、当社宛の
当座口振込が一番ご便利です

上田市原町
皆様の 富士銀行上田支店
(振替貯金口座長野3522)

出版いよいよ近し 乞予約申込

針塚長太郎先生—その伝記と追想記

刷上り300頁 追想記100余名執筆 実費頒価 1部 1000円
「針塚長太郎先生—その伝記と追想記」編纂が終り、いま印
刷所に廻っております。これは、ひとり一世の師表針塚先生
を伝えるのみでなく、母校のほこるべき歴史を伝えるもので
す。潑刺たる息吹が一巻をおおっています。母校が新しい時
代を迎えようとするとき、とくに若い同窓生の愛読をおすす
めいたします。印刷部数をきめる上にも即刻予約申し込み下
さい。なお同時に送金をお願いします。篇志寄附も着々と寄
せられていますが、一層の御協力をお願いします。2,000円
以上の方には一部贈呈します。

(千曲会振替口座東京43341番を御利用下さい)

信州大学繊維学部千曲会館内
針塚先生追想録刊委員会

編集室より

海に山に消夏で賑う昨今会員各位益々ご健勝のほど編集
員一同暑中お見舞申し上げます。

暑さにいどむ各種スポーツが行なわれている。信大校内
職員体育大会は当番の農学部において5種目になつて行
なわれるので選手、応援団はロマンスカーを連ねて8月4
日和田峠越え伊那で競技を録ることになっている。学内で
は今理科実験講習が催されている繊維機械学科研究室の本
年度建設工事の手初めはブルドーザによって着手されてい
る。

編集委員 小林尚一 青山清和 一の瀬匡典
柳沢幸雄 小林 勝 小山 定
大屋正尚 白井要範